

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	救急自動車・救急用資機材整備事業		担当部署	消防本部 予防課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	消防法 消防組織法	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成 <input type="text" value=""/> 7年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終期
(小項目)		救急			
施策	3	救急救助・医療体制の充実			
基本事業	1	救急体制の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	消防署に配備している高規格救急自動車														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	経年劣化が進んでいる高規格救急自動車の更新をして、消防署・大麻分署で4台体制の維持														
事業計画	30年度に何を計画していたか	経年劣化が進んでいる平成13年2月登録の救急車両の廃車、更新。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車の配備率</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	救急車の配備率	100	100				%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
救急車の配備率	100	100				%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	高規格救急自動車の更新					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	高規格救急自動車	4	4	4	4	台
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	救急車の配備率		100	100	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	%
今年度の進捗状況	完了		事業全体の進捗状況		-		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	21,300	0	7,300	28,600
		補正予算額	0	0	△ 300	0	300	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	21,000	0	7,600	28,600
		決算額	0	0	21,000	0	7,296	28,296
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	0.0	732		29,028		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:救急自動車・救急用資機材整備事業】

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費		28,296			
	うち一般財源		7,296			
	人件費		732			
	総事業費		29,028			

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		平成13年登録の高規格救急自動車を廃車、更新して、4台体制を維持、救急出場に対応できた。
	効率性	B:概ね効率的だった		年度内に更新、4台体制を維持した。
②成果に対する評価	指標名	救急車の配備率		高規格救急自動車の更新を計画的に行った。
	目標	100	%	
	実績	100	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		消防署、大麻分署の高規格救急自動車の配備を計画どおり行った。

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度				
	R2年度				